■勉強会「ニュースの読み方・分かりやすい文章の書き方」

■2020年4月23日開催（日本リザルツ東京事務所）

■参加者

日本リザルツ職員、アカデミア、企業

■内容

紙の新聞の構成はどのようになっているのだろうか。「『三面記事』というのは、3ページ目という意味ではない。社会面のことである。新聞社では、社会部・外信部・政治部といった各部が、総合面と呼ばれる1面、2面、3面に記事を載せようとしのぎを削っている。土日でニュースが少ないときこそ各社の特色が出るので、各社の一面トップ記事を比べてみると面白い」と講師は述べた。また「昨今のデジタル・ニュース配信では、検索が反映されて、自分の関心のあるニュースや情報が優先的に現れる。では、それを以て世間が自分と同じ考えを持っているのかと言えば、そうではない。意図せずに自分がフェイクニュースを広めてしまうこともあるので注意が必要である」。

分かりやすい文章の書き方とは、講師によれば「新聞記事は中学生にも分かるように書くのが基本であり、それは情報を伝えるためのものである」。①入学試験の小論文のために、朝日新聞のコラム「天声人語」を書き写せとよくいわれるように、写すのは良い訓練である②書いた文章に「～ね」を入れて読んでみて、文章のリズムを大切にする③中止法を続けて使わない―といった、分かりやすい文章を書くための具体的な方法が述べられた。